

高山金属

高山金属 シュレッダー工場が完成



近畿工業製V-BUSTER



投入エプロンコンベア

本社工場では三方
締プレス機1基、ア
リゲーター・シャーク
基、40トントラックス
ケールを備え、18年
(同30年)にはナ
ゲットプラントを設
置。現在、貢取強化
している雑線の内製
化で高品質と高付加
価値化を図っている。

高山金属の七ツ島貯蔵場（鹿児島市七ツ島）に待望のシュレッダー工場が完成した。シュレッダーは近畿工業製のV-BUSTERを採用。同機は小型の工業用雑品やモーター、小型家電などを破碎し、小型家電などを断続・圧縮・摩擦による作用を高め、分離破碎を行ない、速やかに機外へ排出することで単体分離性が格段にアップ。破碎後の処理物は滞留させることなく機外へ排出するので無駄な電力消費を抑え、省エネ効果が得られる。また銅やアルミの抱き込みを抑制し、破碎後の選別工程で純度の高い素材回収が可能。さらに堅型破碎機のため省ス

ペースでの設置が魅力だ。ベースでの設置が魅力だ。高橋司部長は「破碎の精度が高く、1工程で細かい粒度に破碎できる。

さらに銅と鉄の絡まりや抱き込みも少なく、後工程との相性も良いシュレッダー」と同機に決めた理由を語る。

高橋司部長は「破碎の精度が高く、1工程で細かい粒度に破碎できる。さらに銅と鉄の絡まりや抱き込みも少なく、後工程との相性も良いシュレッダー」と同機に決めた理由を語る。

近畿工業製のV-BUSTERを導入

「選別プラントはヒラキンテックが監修」

システムが完成した。

この選別プラントは大手総合リサイクル企業の平林金属（本社・岡山市、平林実社長）グループのヒラキンテックが設計・監修した。高山金属は

シュレッダーや選別プラ

ント施設の設置・運営に初めて乗り出ため、当初は不安を感じながらも「トラブルが起きたく安定して稼働できるシステムができた。ヒラキンテックさんは平林金属さんのグ

ループとして豊富なノウハウの蓄積や実績もあり信頼度が高い（高山部長）と全幅の信頼を寄せる。

またシュレッダー導入に合わせて建屋を建設。

延床面積は約1,200平方メートル、高さは約14・5mあり、選別ラインのレイアウトに合わせて建屋内や近隣に設置し、建屋内や近隣に対する環境負荷低減にも配慮した。8月に認可

設計されている。集塵機も設置し、建屋内や近隣に小形家電などの回収・リサイクルを想定し、月間200tの処理を目指す」と抱負を語る。

総合リサイクル企業の確立

「更なる高品質と生産性向上へ」

同社は1955年（昭和30年）奄美大島で創立、58年（同33年）に瀬戸内町に移転後、72年（同47年）に鹿児島市で営業を開始。2000年（平成12年）に現在の本社所在地となった。08年には谷山港事業所（鹿児島市谷山港）を、10年（平成22年）には七ツ島

貯蔵場を開設した。

同社は特に建物解体案

件得意としており、

産業廃棄物の収集運搬・

処分業（中間処理）の許

可も取得している。15台

の様々なトラックを保有、

ベランから着手まで幅

広い層の従業員が機動力を駆使し、迅速・丁寧な対応を心掛けて

いる。

谷山港事業所は100

0tのスクランプシャー

やプレス機、アリケー

ターシャーなどを保有、

今年5月には定置式スク

ラップローダも導入した。

七ツ島貯蔵場は内航を

メインとする鉄スクラン

プ出荷のための船積拠点

で、出荷体制を万全にす

るため敷地の拡張や重機

化してきた。

また同社では、06年に

トナー」に認定されるなど、地域の環境対策や課題解決に向けた取組、さらには雇用面での貢献などが地元自治体からも評価されている。高山博行社長は「今後も様々な機械設備の導入を視野に、さらなる品質向上と生産性アップを目指しながら、総合リサイクル企業として地域社会に貢献していく」と述べた。

ごしまSDGs推進パ

ートナー」に認定されるなど、地域の環境対策や課題解決に向けた取組、さらには雇用面での貢献などが地元自治体からも評価されている。高山博行社長は「今後も様々な機械設備の導入を視野に、さらなる品質向上と生産性アップを目指しながら、総合リサイクル企業として地域社会に貢献していく」と述べた。

トナー」に認定されるなど、地域の環境対策や課題解決に向けた取組、さらには雇用面での貢献などが地元自治体からも評価されている。高山博行社長は「今後も様々な機械設備の導入を視野に、さらなる品質向上と生産性アップを目指しながら、総合リサイクル企業として地域社会に貢献していく」と述べた。

トナー」に認定されるなど、地域の環境対策や課題解決に向けた取組、さらには雇用面での貢献などが地元自治体からも評価されている。高山